



今号では各区での取り組みをご紹介します！

## 平野区ごみ減量講演会 ～ 東南環境事業センター～

平成26年2月7日(金)午後2時から、クレオ大阪南大ホールにおいて、ごみ減量講演会「家庭・地域で取り組むごみ減量～いつでもどこでも、ごみ減量～」を開催しました。

平野区のごみゼロリーダーと平野区民の方合わせて172名の方が参加され、大盛況で開催できました。まず講演に先立ち、推進員区代表の川添さんから、「これは何ごみだろうと考えながら分別していると、分別も面白く感じます」と、日々ごみの分別に奮闘されているご自身のエピソードを交え、楽しいごあいさつをいただきました。同じ地域の方からのこうしたお話は、来場者の皆さんにとってごみの分別やリサイクルを身近に感じていただけ、何よりの励みとなりました。

講演はNPO法人ごみゼロネット大阪の原田理事をお招きし、行政とは違う観点から、分別の意義や市民の責務、また分別をしやすくするための工夫など、いろいろな事例を交えてお話していただきました。

また今回の講演は「参加型」ということで、来場者の方から、ごみの分別をする上で疑問に思っていることや、ごみの減量やリサイクルのために日ごろ工夫していることなどをお聞きしながらすすめたところ、「スーパーでカートを使うと、ついつい買い過ぎてしまうので、レジかごを手で持って買うようにしている」や「マイバッグをいつでも使えるように、かばんに常に入れてい」など、普段の生活で取り組んでいることを積極的に発言していただきました。

これからもごみゼロリーダーの皆さんを中心に地域のみなさまと協力しながら、様々なイベントを開催し、より一層のごみ減量、3Rの推進につなげていきたいと考えております。



## 福島区・此花区・西淀川区推進員実地研修を実施

～ 西北環境事業センター～

平成 26 年 2 月 20 日(木)福島区 19 名、平成 26 年 2 月 25 日(火)此花区 14 名、平成 26 年 2 月 27 日(木)西淀川区 22 名の方が参加され、廃棄物減量等推進員実地研修会を開催しました。

今回見学したパナソニックエコテクノロジーセンター(株)は、家電リサイクル法に基づき使用済み家電製品 4 品目のリサイクルを行なっている企業です。また、「商品から商品へ」を追求する新しいリサイクル技術の開発などにも積極的に取り組んでおられます。

90 分の見学コースでは、DVD 映像による活動紹介、展示コーナー、工場の順で案内されました。

家電リサイクル法の制度や家電リサイクルを巡る諸問題、家電メーカーの取り組みや、排出者負担であるリサイクル料金がどのように使われているのかについての説明があり、質疑応答や意見交換を行いました。

また工場内の見学では、説明が解りやすかったこともあり、「リサイクルで出された家電が無駄なく分類されているのが良く解った」、「リサイクルについて再認識できた」、「リサイクルに手間がかかることがよく分かった」、「いろいろな種類の選別に感心した」等の感想がありました。適正排出による適正処理がどういうものかを実感され、家電リサイクルへの理解を深めました。

一方、排出者負担のリサイクル料金についても、手作業による分別などが行われているリサイクル現場を目の当たりにしたことや、リサイクル料金の内訳についての説明を聞くことで理解することができ、有意義な研修となりました。



福島区推進員のみなさん



此花区推進員のみなさん



西淀川区推進員のみなさん





## 東成区・生野区推進員実地研修を実施

～ 東部環境事業センター～

平成25年11月26日(火)東成区と生野区の廃棄物減量等推進員施設見学会及び3R研修会を開催し、27名が参加されました。

当日は午前中、大阪市西成区にある株式会社カンソーを見学。こちらはプラスチック・缶などのリサイクル工場で、廃プラスチックを板ブロックに、ペットボトルをフレーク状に加工、アルミ缶とスチール缶は機械で自動選別された後、圧縮処理している様子を見学できました。午後は、京都市伏見区にある洗びん工場、株式会社吉川商店を見学しました。ここでは、一升びんなどのリターナブルびんがレーン流れ、キャップをはずされ、ラベルをはがされ、洗浄され、検査され、と一連の作業は基本的に機械がおこなっていますが、人間の目による選別・検品作業などもおこなわれていました。ごみゼロリーダーからは、「びんはどのような方法で回収しているのか」「どこに出荷しているのか」「水道代はどのくらいか」「リターナブルびんを使う事でどのようなメリットがあるか」など次々質問も出て、とても興味深く熱心にご覧になっていました。

移動中のバスの車内でもDVD視聴による3R研修がおこなわれるというハードなスケジュールでしたが、皆さん、実際に工場を見学することで3Rの重要性を実感され、解散後、「ええ勉強になって、よかったわ～」という感想がありました。



## 平野区推進員実地研修を実施

～ 東南環境事業センター～

平成25年11月29日(金)和歌山県の花王エコラボミュージアムにおいて、平野区廃棄物減量等推進員実地研修を開催しました。

天候にも恵まれ31名の参加がありました。施設内では熱心に見学し、ごみを減らすための詰め替え容器や配送の段ボールの工夫等を学びました。また、使用する水を減らすために簡単に汚れを取れるように開発された洗剤のエコ体験実験においては「すごい」とみなさん驚き、楽しく研修が出来ました。ごみゼロリーダーそれぞれの口からは「エコの大切さを再確認できた」といった感想も出て、有意義な研修になりました。



## 中央区高津連合で活動されているごみゼロリーダーのお話を伺いました

高津連合代表 西尾 元伸さん

中央区高津連合はどのような地域ですか？

大阪市中央区内の高津連合振興町会は、約 2,000 人の住民が 17 町会で生活しております。特徴としては、商業地域ということもあって、賃貸の集合住宅が多い地域です。

このような地域でも、昨今の大きな災害に鑑み 3 年前より防災訓練が行われるようになり、ようやく、地域活性化のために全体行事の取組みが始められるようになりました。

地域での活動内容などを教えてください。

少子高齢化の世の中で、ごみゼロリーダーとしては、地元小学校でのガレージセールや街の美化活動の道路や公園の清掃をより多くの人に推し進めることが必要ではないかと思えます。すでに、グループで実施されているところもありますが、地域全体としての取組みではないので、どうしても小規模活動となり、お互いの連携もないので、ごみの減量・美化・3R への取組みに大きく発展していかない悩みがあります。地域活動としては、街の美化活動、特に、地元町会の皆様のご協力により、地元公園の清掃活動を 8 町会の毎月当番制ですでに 40 年以上続けており、ごみの不法投棄の回収や処理等を行っております。

ごみゼロリーダーについて感想を教えてください。

このような地域活動に、私が喜んで取組んでいけるのも、ごみゼロリーダーとして各種研修会や交流会に参加させていただき、他の地域で積極的に取り組んでおられるごみゼロリーダーの体験談や講師の方の講演など大いに勉強させていただいたお陰だと感謝致しております。



地域で共に活動されている

高津連合代表 高津町六番丁振興町会会長

西尾 元信さん 村口 啓三さん 大西 達夫さん

編集・発行

大阪市環境局 事業部 家庭ごみ減量課

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 - 5 - 1 あべのルシアス 13 階

TEL: 06 - 6630 - 3258 FAX: 06 - 6630 - 3581

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

